

しずおかスポーツ産業ビジョン（素案）に係る意見及び回答一覧

- (1) 意見募集期間 令和7年4月25日（金）から5月26日（月）まで
 (2) 意見提出状況 173人・205件
 (3) 提出された意見に対する考え方

同じ趣旨の意見をまとめうえで、以下のとおり区分し、①に該当する意見についてはビジョンの修正を行った。

対応区分	対応案
①	意見の趣旨を踏まえ、ビジョンの修正を行う
②	ビジョンの修正は要しないが、意見の趣旨を踏まえ取り組む（取り組んでいる）
③	ビジョンへの反映を見送る
その他	内容に関する質問、事業への要望等、ビジョンの修正を伴わない意見

連番	素案のページ数	内容	意見	区分	対応案
1	P1～6	全体概要	eスポーツの項目は無いのか	①	P17へ ・デジタル観光コンテンツの充実、DX化（eスポーツを含む）と記載しました
2	P1～6	全体概要	スポーツ産業を発展させるそもその土台としてスポーツを好きな人の数を増やすことは必要不可欠であり、そのための施策を設けることが重要だと感じます。低年齢層に対するスポーツへの関心を広げることが、この先のスポーツ産業を長い目で見据えると効果が大きく、またスポーツ福祉にも貢献することが可能であるように考えられます。	②	本ビジョンは、本県のスポーツ産業を成長産業化させるための基本的な方向性を示すものであり、経済的な観点から施策等を決めています。ご指摘の御意見につきましては、静岡県スポーツ推進計画等、他計画で議論するものと整理しております。
3			県外の人知らない静岡県の魅力を伝えられる企画があるといいなと思いました。 富士山など誰もが知っている魅力ではなく、静岡県に住んでいるからこそ知っている魅力が伝えられたら嬉しいなと思いました。	その他	貴重な御意見ありがとうございます。静岡県らしさを活かしながら、スポーツの魅力を上げていけるよう努めてまいります。
4	P6, 7	地域特性・スポーツ資源	P6の静岡県の地域特性・外部環境について自然環境が豊かな静岡県でビーチ・マリンスポーツやアウトドアスポーツなどの自然環境を活かしたスポーツをすることは地域活性化にもつながり地域貢献できる素晴らしいポイントだと思う。一方で、新幹線で東京などの都市圏に行きやすいという点で、外部への若者の流出という人口減少が目立つ。静岡県が多くスポーツ団体やスポーツ施設などに力を入れていることを知らない県民が多いと思うので、それらの魅力を伝えていくためにいっそう力を入れていくべきだと思う。	①	P15へ ・スポーツファン拡大に向けた取組（アウェイツーリズムの推進、チームの魅力発信、地域への浸透）と記載しました。
5			豪華でとても大きいスポーツ施設よりも、地域住民が気軽に使えて通いやすいローカルな体育館やグラウンドというのをたくさん建てた方がいいのではないかなと思う。そうすることで、県民のスポーツへの関心や好奇心が満遍なく上昇し、目標の達成に近づいていくのではないかなと考えた。	②	連番2と同様
6			静岡県はサッカーが有名なことから、いろいろなスポーツを盛り上げるよりもサッカーに特化したまちとしてあり続ける方がよいのではないかなと考える。	③	本ビジョンでは、公平性の観点から特定の競技やチームに偏ることはせず、サッカーに特化した施策等については想定しておりません。
7	P8～10	10年後の目指すべき姿	「しずおかスポーツ産業ビジョン（素案）」では、プロスポーツを地域資源の一つとして捉えている点が良いと思った。大人になるとスポーツを「やる」ことよりも「みる」ことの方が身近にあり、実行しやすいため、スポーツを見に行くという習慣がない人に、スポーツを見るきっかけとなるようなイベントを行って欲しいと思った。	②	連番2と同様
8			ネットで体育館の使用について調べたのですが、地元よりも複雑に感じましたし、予約も埋まっていてとても気軽に使える環境では無いと感じました。なので、もっと簡単にスポーツができるような仕組みがあればもっと静岡県のスポーツ産業や県民のスポーツに対する意識が上がるのではないかなと思うので是非とも検討していただきたいです。	②	連番2と同様
9	P10～12	施策展開の方向性	スライド12：この図は必要ないのでは。なぜなら縦軸（規模）と横軸（時間）によって示されている内容（中身）のポジショニングが必ずしも適切ではないと思われる。なお、「みるスポーツ」が中心であることは、10枚目のスライドで伝わるのではないかな。	③	スポーツ産業の成長産業化のためには、施策に取り組む順番も重要であることから、本ページはそのままとさせていただきます。

連番	素案のページ数	内 容	意 見	区 分	対応案
10	P14	KPI	スライド14：各施策の現状数値や10年後数値を合計したものが、2,863億円や4,700億円と合わないことの説明（注釈）が必要。	①	P14および概要版へ ※個別額については、施策ごとの達成度合いを図る指標であり、個別額の合計と全体額は一致しないと記載しました。
11	P15	施策1（プロスポーツ）	現在情報収集のツールがSNS中心に移行してきている状況を鑑みて、SNSでの積極的な情報発信が市場拡大の鍵であると考えます。	①	連番4と同様
12			プロスポーツチームに力を入れるとのことでしたが、静岡県のスポーツチームといえば、と呼べるようなクラブの出現が重要だと思います。	①	P15へ ・ファンエンゲージメントの拡大、 競技力向上による新規ファン獲得 と記載しました。
13			プロのチームと連携したイベントや大会などを開いて、静岡をさまざまなスポーツに触れ合えるまちをつくった方がいいと思う。	②	P15に取組内容として「スポーツファン拡大に向けた取組（アウェイツーリズムの推進）」や「スポーツホスピタリティの推進」、「チーム間連携による共同プロジェクト」と記載しているため、すでに記載済みの意見として整理させていただきます。
14		遠くに住んでいてなかなか街に来られない人や忙しくて長く時間が取れない人の為にインターネットを活用した交流やクオリティの高い観戦(有料)ができるようになると思う			
15		アウェーのサポーターをおもてなしするという心構えがより静岡県全体の産業の発展や、スポーツ業界の発展につながると思う。			
16		小中学生に無料でチケットを配って知名度を上げる			
17		もっと県内プロスポーツチームのつながりを作り、複数チームを応援する人を増やすために、静岡スポーツフェスを開催したら面白いと思った。			
18			サッカー王国静岡の威信をもってよりスポーツ振興に力を注いでいただきたいと感じました。県内スポーツチームの中には、清水エスパルスやジュビロ磐田などのサッカーチームがあり、地域活性化、経済発展のためにも非常に重要なこととなっている。具体案として、県からチームに対して支援金を出し、チームの環境、選手の補強といった面で、新しい戦力を手に入れるといった面で使うための資金援助ができると思う。	その他	プロスポーツチームの競技力向上を目的とした資金援助は、現状では難しいことをご理解ください。
19	P15	施策1（スタジアム・アリーナ）	KPI及び取組内容→取組内容→県（の取組）で、”県が所有するスタジアム・アリーナの改修・整備を通した市町と連携したまちづくりや効果的な施設活用”という文面を、”県が所有するスタジアム・アリーナの「民間主体での」改修・整備”という文面に変更することを提案します。	①	P15へ スタアリの改修・整備時における資金や運営ノウハウの提供 、と記載しました。
20			新しくスタジアム・アリーナを建設して欲しい（清水、草薙、浜松、東部）	②	連番2と同様
21			スポーツのスタジアムや施設について、どこも交通の便が悪すぎると思う。サッカーを見に行くにしてもスタジアムが遠いからそこまでファンではない人やお金がない学生にとってはハードルが高い。	②	P15に取組内容として「スタジアム・アリーナの改修・整備を通したまちづくりや効果的な施設活用」と記載しているため、すでに記載済みの意見として整理させていただきます。
22			静岡空港ができ、国内だけでなく、海外からの行き来ができ、新幹線も停車するため大会では多くの参加者で賑わうが、ホテルの数が足りておらず、車で30分ほど移動しなければならなくなってしまうと耳にする。だからこそ私はスポーツ目的で訪れた旅行者がもっと快適に、また来たいと思えるような環境の整備が必要であると考えます		
23			清水エスパルスの新スタジアム建設についての計画があると思うが、建てるのであればサッカー観戦だけではなく、地域住民や企業が利用できる施設にしてほしいと思う。 広島の新スタジアムでは企業研修などの会議室利用、スタジアムパークの利用が多く、試合日以外でも施設の活用ができる。そういった機能を組み込み、試合日以外でも行きたいと思える施設にした方がいいと思う。		

連番	素案のページ数	内 容	意 見	区 分	対応案
24	P16	施策2（産業融合）	施策2に関して、今までスポーツに関連してきた団体やこれから関連する団体を1つにまとめて、相互に援助する体系を作ると理解しました。が、具体的に県内産業とスポーツ共創事業とはどんなものかイメージが湧きません。具体的なものがあれば知りたいです。	①	P16へ ※1 例) 静岡ブルーレヴズと(株)ナビタイムによる交通渋滞対策のためのアプリ活用と記載しました
25			静岡県では製造業が盛んであるため、スポーツ用品の販売が効果的なのではと考えた。重さ、耐久性、素材など種目によって重要視される項目は異なり、今はスポーツに関わっていない企業でもすでに持っている技術を活かし、その企業ならではの視点からの開発ができるのではと考えた。また新たな企業の発足により、スポーツ産業の活性化や地域住民のスポーツへの関心度の向上、県外からのスポーツ人材の流入が見込めるのではないだろうか。	その他	スポーツ用品に限らず、県内のスポーツ資源や県内産業との融合による新たな産業創出に努めてまいります。
26	P17	施策3（スポーツツーリズム）	私や私の周りの友人は観光スポットや資源はもちろん、ご当地グルメにすごく関心がある人が多いと感じるので、グルメとスポーツを掛け合わせることは難しいかもしれませんがグルメを組み合わせることが出来たらもっと静岡県に人が集まるのではないかと考えました。	①	P17へ スポーツと グルメ・宿泊・観光 を組み合わせたコンテンツ開発と記載しました。
27			サッカーやバレーボールなどのチームの試合が県内で開催される際に観戦チケットに県内での食事や宿泊、お土産の購入に使用できるクーポン券とグッズをセットにしたものを売るといってをすれば観戦に付随してほぼ確実に静岡の観光を楽しんでいただけたと思います。		
28			今回のビジョンはみるスポーツの拡大、県内産業とスポーツ分野の共創、人の呼び込み、地域スポーツの振興となっているが引越してきたばかりでは地域スポーツに馴染むのは難しいと思う。そこで、移住してきたある一定層の方々に向けたスポーツとの関りを促進できる活動を行う必要があるのではないかと考えた。	①	P17へ 移住・定住を見据えた交流人口の拡大と記載しました。
29			「デジタル観光コンテンツの充実」とありますが、どういったものを想定しているのですか？他の項目については具体的な案が出ていますが、この事のみ詳細が書かれていなかったのも、何か案があるのなら記載していただきたいです。	①	P17へ 例) AR、VR、AIを用いた新しい体験の提供と記載しました。
30			現在世界は情報化社会で、インターネットの影響力はとてつもなく大きくなっています。SNSによる発信に力を入れて、インターネットで世界中に静岡の良さを広げていくことができたら静岡県内のスポーツ事業だけでなく県全体の発展にも繋がると思います。	①	P17へ 県内スポーツツーリズム（スポーツ合宿・大会）の 全世界に向けた 魅力発信と記載しました。
31			スポーツと連携することで、富士山にさらなる訪問者増加が見込まれることは環境に負担が大きく、環境保全の面で実行するべきではないと思う。それよりも、私はスポーツというメディアを使って、まだあまり注目されていない地域資源に新たな価値を見出した方が、他との差別化が良いピーアル効果をうみ、スポーツが発展しやすくなると思う。	①	P17へ ※環境問題、オーバーツーリズム対策に配慮したうえで実施すると記載しました。
32			静岡の温暖な気候を生かして国内外から選手の合宿やキャンプの受け入れを増やしてほしいです。あまり知らないチームや自分の応援していない敵チームでも静岡県に来てもらうだけで様子を見に行く人も多いいと思います。	②	
33			大会などを開催される際は、静岡県のチームに対して理解の少ない私達でも応援しやすい国単位で応援できる国際的な大会にさせていただくことで日本全国のみならず世界中から観戦・参加する人が訪れ良いと思います。	②	P17に取組内容として「県・市町と連携した合宿・大会誘致、イベント実施」と記載しているため、すでに記載済みの意見として整理させていただきました。

連番	素案のページ数	内 容	意 見	区 分	対応案
34	P18	施策4（地域スポーツの振興）	P18のスポーツによるWell-being向上について、とても良い施策だと考えています。しかし、その取組内容について改善の余地があると考えます。「学校体育施設の活用・整備、一般開放促進」とありますが、学校体育施設だけでなく、公園の整備を行うこともいいのではないかと感じています。	②	連番2と同様
35			“県民誰もが”楽しめるように、運動をすることが難しい人への支援について、どのような計画があるのかももっと発信してほしい。		
36			部活動の地域への移動化があるが、マイナーな部活(アイスホッケーや体操など)への対応はどうするのか。指導者の確保は十分にできるのか。		
37			施策の具体的な目標として「スポーツを通じたコミュニティ形成によるwell-beingの向上による健康寿命の延伸」を掲げるのであれば、KPIに静岡県の平均健康寿命の変化を追加するべきではないかと考えました。		
38	P19	施策5（人材育成）	中学生、高校生向けに、探究学習と連携した仕事体験プロジェクトを企画したらどうか。スポーツに関わる仕事を体験することをテーマに、地域のスポーツチームの裏方仕事の見学や体験を行ったり、職種（経営部、データアナリストなど）ごとの仕事内容の紹介、体験、ワークショップを行ったりすることを提案する。	①	P19へ デュアルキャリアやスポーツビジネスに関心のある学生等に向けたセミナー・イベントの開催と記載しました。
39			指導者育成の強化をはかってほしい。	②	P19に取組内容として「指導者としての就業支援」と記載しているため、すでに記載済みの意見として整理させていただきました。
40			プロスポーツをスポーツ産業として成長させるためには試合を裏で支える人々の待遇をよりよくすることが必要不可欠なのではないか。今までのような従事している人々のボランティア精神に頼った競技運営は持続可能な形ではないと私は考える。	②	連番2と同様
41			教育機関では体系的にスポーツ全般を学べるカリキュラムを作ったり、アスリート雇用促進だけでなく、それ以外のスポーツ専門職に関しても静岡県としての認定資格としたり、奨励金制度などを導入したりするのもスポーツビジネス人材育成につながると思います。		
42			スポーツ科学やスポーツ心理学、スポーツ経営学などスポーツに関する学問分野は沢山あるので、それらの学問をより大学に導入し、スポーツについて学ぶ機会を提供するのがよいと考えます。また具体的にそれらを学ぶことで将来どのような職業においてスポーツに関与、支える人材として活躍できるのか少しでも明確にみえるようになれば、スポーツについて学びを深めることへのハードルが下がると感じました。大学生や高校生を中心としたスポーツ組織が広まれば、気軽にスポーツに接する機会ができ、将来スポーツに関わる職業に就きたいと考えるきっかけになると思います。		
43	P20～27	スポーツ産業市場規模	スライド22以降：これらの数値は、“現状”の数値（試算）であることの説明（注釈）がどこかに必要。	①	P14へ ※市場規模の現状額については、あくまでも県独自で計算した試算に基づく と記載しました。
44			スライド24の「123億円」だけが10年後の目標値となっている。	①	P24へ 10年後の目標額：123億円 と記載しました。
45			KPIに示した現状値の根拠（出典）を巻末に掲載できればなお良いと思われる。	①	P21～27に主な出展を記載しました。
46			24ページの年毎の累計事業件数の想定を疑問に思う。参加企業がそこまで事業を作り出せるのか疑問で、もし静岡県がスタジアムの整備やプラットフォームの構築、スポーツツーリズムの整備で新規事業を作り出すとしても、10年たつ前に整備などが終わり、新規事業を作り出すのが難しいのではないかと。	③	目標達成に向けてオール静岡で尽力してまいります。